

＜北海道熊研究会 会報＞ 第 86 号 2019 年 5 月 5 日

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

既報会報の 1～85 号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力しご覧下さい

ご意見ご連絡は本紙送信 email ではなく、下記の email へお願い致します

e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的

熊の実像について調査研究し、熊による人畜及びその他経済的被害を予防しつつ、人と熊が棲み分けた状態で共存を図り、狩猟以外では熊を殺さない社会の形成を図るための提言と啓発活動を行う。この考えの根底は、この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として人が為すべき正しき道)に基づく理念による。

＜里や市街地に出て来る熊は、人を襲わない＞私の
50 年間の熊調査の結論である；その理由を述べる

私は 1970 年から、熊の調査研究を始めたが、以来今日に至るまで、里や市街地で、人が熊に襲われたり、威嚇された事例は皆無である。

里や市街地に出て来る熊は、本能的に、無意識に、人と諍いが生じ無い様に行動しているということである。

この 4 月 21 日から 23 日にかけて、札幌市と北広島市で、熊がこの 4 月に母から、自立した満 1 歳 3 ヶ月令の若熊が、己の行動圏を確立する目的で探索する過程で、出沒したことで、行政に關与している熊の専門家なる連中、市の關係者、報道機関は大騒ぎしていたが、全く無知そのものである。

熊の行動には必ず、「目的と理由」がある。人も同じ！！

＜熊が里に出て来る目的＞ 熊の出沒目的は、4 大別される。今回はその①を述べる。

＜出沒の①＞ 若熊(母から自立した年の子の呼称)が検証に出て来る事がある。母熊から自立した(自立させられた)若熊が、独り立ちして生活する為の行動圏を確立するための探索徘徊過程で、人里や人家付近に至り、そこがどう言う所なのか、自分の生活圏

として、使える場所なのか否かを、検証に出て来る事がある。この種の熊は母からその年自立した1歳代、ないし2歳代の若熊に限られる。時季は、子熊が母から自立する時季は、早くて4月、通常は5月から9月の間、遅い場合は10月まで、ずれ込む事もある。出沒時季は、5月～11月にかけて、出て来る時間帯は、多くは夕方から朝方の間で、人を避けて出て来るのが特徴。但し、6月以前に出て来る1歳5ヶ月令未満の若熊は(熊の年齢は2月1日を誕生日として計算する)、知恵が未発達で、日中や日没前に出て来ることもある。ここで留意して欲しい事は、若熊は絶対に人を襲わないと言う事。これまで私の50年間に及ぶ熊研究期間中に、若熊が人を襲った事例は無いと言う事実を知って戴きたい。人を襲わないのである。人が居ない事を確かめて出て来て、その後、人と遭遇した場合は、人を避けながら、付近を徘徊しながら、自分の生活圏として、使える場所なのか否かを、検証し続ける。若熊が街中を移動する場合は、樹(1本でも)の有る所から、樹のある所へ向かって移動する事が多い。

満2歳代の熊は、体長が1.3m未満、手足跡の最大横幅が13cm未満であるから、これを指標に熊の年齢を判断されると良い。体長とは、鼻先と肛門(尾の付け根)間の直線距離事で、「頭胴長」とも言う。

<若熊は里や市街地に必ず出て来るものか>

総ての若熊が出て来る訳では無い。前記①が目的で出て来る若熊は、里や市街地に関心を抱いたものだけが出て来るのである。

<出沒時季と日数と出沒時間帯>

出沒の① <出沒時季>出沒が早い場合は4月下旬頃から、～遅い場合は11月末に稀に出て来る場合もある。通常は7月から10月の間である。

<出沒日数>

① 出沒する日数は、1日～5日間以内の場合が多い。②長い場合は、7日間、希に10日間程出て来る事も有る。③また、1日～数日間出て、しばらく間を置いて、前と同じ場所かその付近、または全く異なる場所に、1日～数日間出て来る事もある。

<出沒時間帯>

通常は、人と遭遇し難い夕方から明け方の時間帯に出て来る。しかし、母から5、6月に自立させられた満1歳代の若熊は知恵が未発達で、明るい時間帯に出て来る事がある。

<移動経路>

街中での移動経路は、樹から樹に移動することが多い。樹が無い場所では、その限りでないが、身が潜める場所に向かって移動する。(了)